

# 一般質問のその後 どうなった!



定例会で議員が出した一般質問がまちづくりにどう生かされているのか。その後を追います。

**問** 地域おこし協力隊の受入れは

**答** 平成29年6月から現在4名が活動中



**問** 窓口業務の民間委託は

**答** 平成29年10月より住民票や所得証明などの発行業務を委託している

碓井庁舎の窓口業務を委託している福岡ソフトウェアセンターと市の担当者にお話しを伺いました

**質** 受託の経験は

**業** 飯塚市で平成29年4月から窓口業務を請け負っている

**質** 窓口の対応における情報共有は

**業** 毎月1回、窓口で起こった事案等を担当課と協議している

**質** 業務受託後のトラブルは

**業** 大きなトラブルはない

**質** 偽装請負防止のための対策は

**業** 委託契約の範囲は、責任者の判断で処理している

**質** 来庁者が何の証明書が必要なのかかわからない場合の対応は

**業** 「何に使うのか」とどこに提出するのか、過去の事例を参考にしたり、また来庁者から提出先に確認してもらって必要な証明書を発行している

**質** 社員が退職した後の個人情報保護は

**業** 社員には入社時に機密保護の誓約書を提出させ、知り得た情報を退職後も外部に漏らしてはならないこととしている(違反した場合、個人情報保護法による罰則)



取材の様子



碓井庁舎の窓口の様子

**質** 個人情報の保護に関する研修は

**業** 年2回実施している

**質** 今後の窓口委託業務の拡大・縮小は

**市** 縮小は考えていない。拡大する場合、委託する業務内容によっては、判断を伴う業務も多いため、組織全体での協議が必要

**質** 現在のところ大きな問題もなく進んでいるが、年度末などの繁忙期を経験していないので、1年を通して課題等をまとめながら、平成32年4月の新庁舎での実施に

## 今回4名のうち2名の隊員からお話しを伺いました

### 森本隊員

「自然から頂く食の追求をしていたときに、嘉麻市の猟師さんに出会ったことがきっかけで嘉麻市を知り、自然そのものの美しさに、「本当に自分が探していた場所はここだ」と確信して、嘉麻市に住みたいと思いました。」と語る森本隊員。

「やりたいことは農と狩猟です。農に関しては土作りをして本当に栄養のあるものを育てたい。主婦の方でも少しの空いた時間に育てられるような農法を確立したい。子どもたちにも土作りの大切さを教える場所をつくりたい。狩猟は地元の猟師さんたちと解体場を建設し、嘉麻市を質のいいジビエ(狩猟で捕獲された野生鳥獣やその食肉)が食べられるところをしたい。狩猟体験など企画して、猟師の育成も行いたい。」と熱く語っていただきました。

※地域おこし協力隊は、市外から移住された方が対象です。

### 石丸隊員

現在は、かまししちゃんを使って市のブランディングや婚活事業、移住を促す企画に携わられています。「嘉麻市は知名度が低いので、福岡県全域、ひいては全国に住みよい土地だと知ってもらうために色々なチャンネルを使って広めていきたい。」と考えているそうです。

「イベントディレクター(前職)の経験を活かして使っていない遊休施設や土地を再利用するようなことをもっと多く企画し、その中で企業を誘致したい。大企業を呼ぶ必要はなく、小さな企業もそれも全部企業誘致だと思っているので、今後重点的にやっていきたい。」と語る石丸隊員。

